# 2021年12月期 第2四半期業績 説明会資料



AGC株式会社 2021年8月2日

# 目次



■2021年12月期 第2四半期業績	<b>P.3</b>
<ul><li>1. 業績のポイントと主要項目</li><li>2. セグメント別・地域別の状況</li></ul>	P.5 P.12
■2021年通期業績見通し	<b>P.18</b>
■中期経営計画 <i>AGC plus-2023</i> 進捗状況	P.25
付属資料	P.36



# 2021年12月期 第2四半期業績

# 本日のポイント



2021年12月期第2四半期 (累計):

(従来予想比) (前年同期比)

**売上高 8,113 億円** (+113億円) (+1,568億円)

**営業利益 952 億円** (+102億円) (+746億円)

・建築用ガラスの出荷増および販売価格が想定以上に上昇

・塩化ビニル樹脂の販売価格が4/12発表時の想定を上回る

2021年12月期通期見通し:

(従来予想比) (前年同期比)

**売上高 16,700 億円** (+200億円) (+2,577億円) **営業利益 1,800 億円** (+200億円) (+1,042億円)

・塩化ビニル樹脂の市況が想定より高いレベルで推移するため、再度上方修正

### ■株主還元

- ・業績予想の上方修正に伴い、年間配当額を見直し
- ・北米建築用ガラス事業の事業譲渡による一時収益に対応した特別配当を行う予定



# 1. 業績のポイントと主要項目

# 2021年12月期 第2四半期業績



(億円)

	2020 Q累計	FY2021 1-2Q累計	増減	主な変動要因 (+)増加要因 (-)減少要因
売上高	6,545	8,113	+ 1,568	(+) 自動車用ガラス、建築用ガラスの出荷増加 *(+) ライフサイエンス製品、半導体関連製品の出荷増加 (+) 東南アジアにおける塩化ビニル樹脂、建築用ガラスの販売価格上昇 (+) ユーロ高
営業利益	206	952	+ 746	上記に加え、 (+) ガラス製造設備の稼働率改善に伴う製造原価低減 (-) 液晶用ガラス基板や半導体関連製品の新規設備立ち上げ等に 伴う減価償却費増加
税引前利益	165	971	+ 807	上記に加え、 (+) 為替差益を計上
親会社の所有者に帰属する当期純利益	114	638	+ 524	
為替レート(期中平均) JPY/USD JPY/EUR	108.27 119.30	107.70 129.83		
原油(Dubai,期中平均) USD/BBL	40.64	63.47		

<sup>\*</sup> うち、為替差影響は+233億円、連結範囲変更の影響は+24億円

# セグメント別業績 前年同期比較

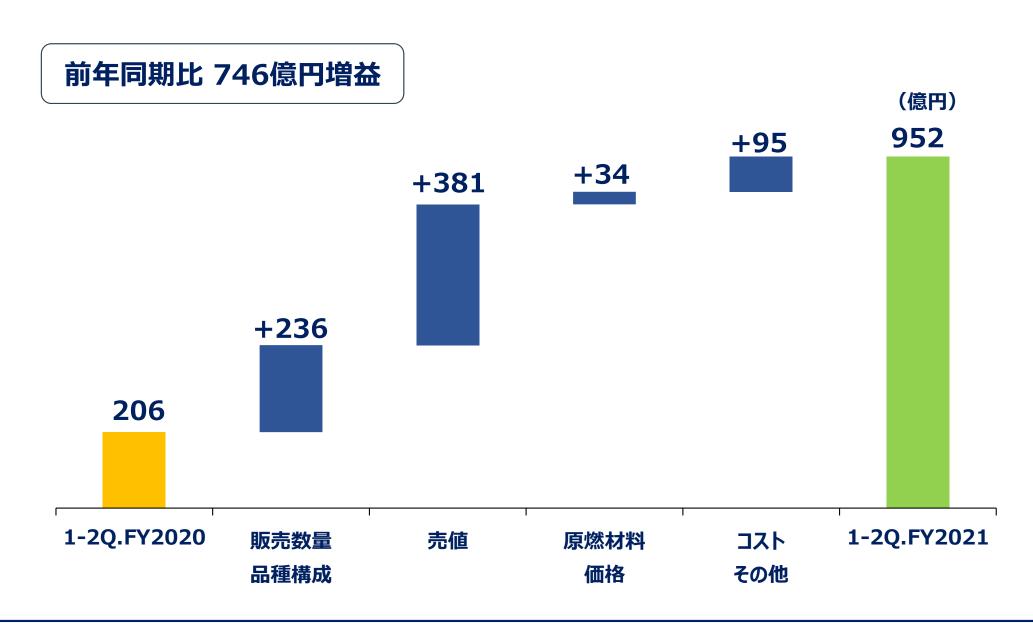


(億円)

		FY2020 FY2021 増減 1-2Q累計 1-2Q累計				成
	(a 売上高	a) 営業利益	( 売上高	b) 営業利益	(b)- 売上高	(a) 営業利益
	70 <b>—</b> 16		70- <b>1</b> 120		/0 <u>—</u> [P]	
ガラス	2,942	<b>1</b> 208	3,717	203	+ 775	+ 411
電子	1,386	174	1,415	140	+ 29	<b>▲</b> 34
化学品	2,124	227	2,881	595	+ 757	+ 368
セラミックス・その他	382	14	367	16	<b>▲</b> 15	+ 2
消去	▲ 289	<b>1</b>	<b>▲</b> 268	<b>A</b> 2	+ 21	<b>1</b>
連結合計	6,545	206	8,113	952	+ 1,568	+ 746

# 営業利益増減要因分析(1-2Q.FY2021 vs. 1-2Q.FY2020)





# 連結財政状態計算書



			(億円	)
	2020/12	2021/6	増減	_
現金及び現金同等物	2,361	2,481	+ 119	_
棚卸資産	2,748	3,003	+ 254	
有形固定資産・無形 資産及びのれん	14,376	14,967	+ 590	
その他	5,859	6,359	+ 500	
資産合計	25,345	26,809	+ 1,464 •	
有利子負債	7,880	7,565	<b>▲</b> 314	_
その他	5,035	5,429	+ 395	_
負債の部	12,914	12,995	+ 80	
親会社の所有者に 帰属する持分合計	11,151	12,381	+ 1,229	
非支配持分	1,279	1,434	+ 155	_
資本の部	12,430	13,815	+ 1,384	
負債及び資本合計	25,345	26,809	+ 1,464	
D/E比率	0.63	0.55		_

# 連結キャッシュフロー計算書



(億円)

1-2Q累計
--------

	FY2020	FY2021
税引前利益	165	971
減価償却費及び償却費	722	<b>796</b>
運転資金増減	37	<b>▲ 175</b>
その他	191	97
営業活動によるCF	1,115	1,690
投資活動によるCF	<b>▲</b> 1,044	<b>▲</b> 925
フリーキャッシュフロー	70	765
有利子負債増減	2,801	<b>▲ 515</b>
支払配当	<b>▲</b> 133	<b>▲ 133</b>
その他	<b>4</b> 6	<b>▲ 53</b>
財務活動によるCF	2,663	<b>▲ 701</b>
現金等に係る換算差額	<b>▲</b> 45	56
現金等の増加額	2,688	119

### 設備投資·減価償却費等



(億円)

1-2Q累計

EV2020 **EV2021** 

	FY2020	FYZUZ1	_
設備投資額	1,116	1,033	•
ガラス	282	251	•
電子	364	342	
化学品	465	431	
セラミックス・その他	6	12	
消去	<b>A</b> 0	<b>A</b> 3	_
減価償却費	722	796	<b>-</b>

減価償却費	722	796
ガラス	260	270
電子	238	280
化学品	214	236
セラミックス・その他	10	10
消去	<b>A</b> 0	<b>▲</b> 0
研究開発費	219	238

#### 【主な設備投資案件】

- ・ディスプレイ中国G11投資(電子)
- ・半導体関連製品製造設備増強 (電子)
- ・フッ素関連製品能力増強(化学品)
- ・東南アジア塩ビ能力増強 (化学品)
- ・バイオ医薬品能力増強(化学品)

など

#### 【主な減価償却費増加要因】

- •半導体関連製品製造設備増強 (電子)
- ・ディスプレイ中国G11投資(電子)

など



# 2. セグメント別・地域別の状況

©AGC Inc.

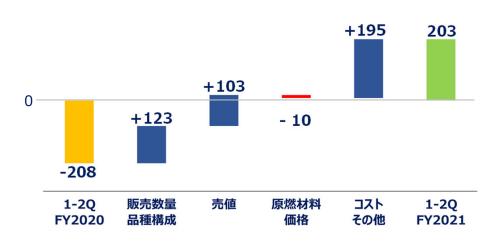
# ガラス セグメント



			(億円)
	1-2Q	累計	
	FY2020	FY2021	増減
売上高	2,942	3,717	+ 775*
建築用ガラス	1,507	1,883	+ 376
自動車用ガラス	1,423	1,822	+ 399
(セグメント間)	12	12	
営業利益	▲ 208	203	+ 411

<sup>\*</sup> うち、為替差影響は+145億円、連結範囲変更の影響は+0.4億円

#### 営業利益増減要因分析

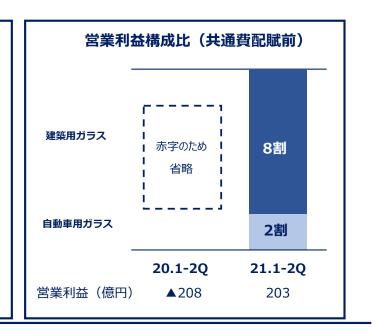


#### 〔建築用ガラス〕

- ・ 欧州、インドネシアを中心に出荷が大幅に増加
- 欧州、南米での販売価格が上昇
- 欧州を中心に製造設備の稼働率が向上し、製造原価が低減

#### 〔自動車用ガラス〕

- ・ 半導体不足の影響を受けたものの、全ての地域で自動車生産台数が増加し、 出荷が増加
- ・ 日ア、欧州を中心に製造設備の稼働率が向上し、製造原価が低減

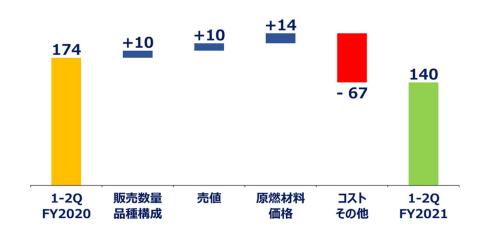


# 電子 セグメント



			(億円)	
	1-2Q	1-2Q累計		
	FY2020	FY2021	増減	
売上高	1,386	1,415	+ 29*	
ディスプレイ	866	889	+ 23	
電子部材	485	487	+ 2	
(セグメント間)	34	39		
営業利益	174	140	<b>▲</b> 34	
* うち、為替差影響は+13億円、連結範囲変更の影響はなし				



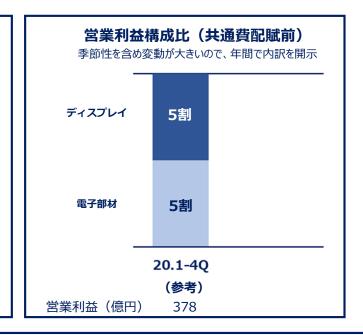


#### 〔ディスプレイ〕

- ・ 液晶用ガラス基板の出荷は前年同期並み、ディスプレイ用特殊ガラスの出荷は増加
- ・ 液晶用ガラス基板の新規設備立ち上げにより、減価償却費が増加
- ・ 為替の影響による製造原価上昇

#### 〔電子部材〕

- オプトエレクトロニクス用部材の出荷は前年同期並み
- EUVマスクブランクス等の半導体関連製品の出荷は増加
- プリント基板材料は米中貿易摩擦の影響などにより出荷が減少
- 半導体関連製品の新規設備立ち上げなどにより、減価償却費が増加



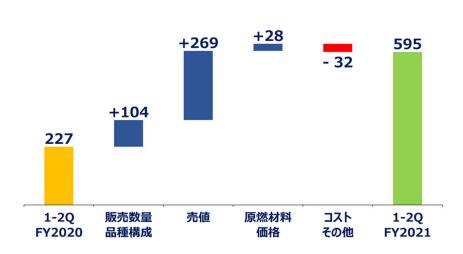
# 化学品 セグメント



			(億円)
	1-2Q		
	FY2020	FY2021	増減
売上高	2,124	2,881	+ 757*
クロールアルカリ・ウレタン	1,254	1,762	+ 508
フッ素・スペシャリティ	529	568	+ 39
ライフサイエンス	333	545	+ 212
(セグメント間)	8	7	
営業利益	227	595	+ 368

<sup>\*</sup> うち、為替差影響は+71億円、連結範囲変更の影響は+23億円

#### 営業利益増減要因分析



#### [クロールアルカリ・ウレタン]

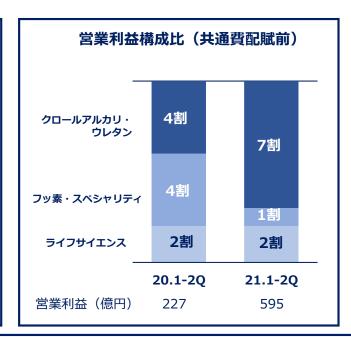
・ 東南アジアで塩化ビニル樹脂の販売価格が上昇

#### 〔フッ素・スペシャリティ〕

- ・ 自動車向けフッ素関連製品の出荷は回復基調が継続
- ・ 航空機向けフッ素関連製品の出荷は低調に推移

#### 〔ライフサイエンス〕

- ・ 合成医農薬は受託件数が増加
- ・ 買収および設備投資による能力増強に加え、新型コロナウイルス関連でバイオ医薬 品の受託件数が増加



# 戦略事業の利益貢献



#### ■ ライフサイエンスを中心に、順調に推移

### 戦略事業売上高推移 (億円)



# 地域別業績 前年同期比較



	1-2Q	1-2Q案訂	
	FY2020	FY2021	増減
売上高	6,545	8,113	+ 1,568 •
日本・アジア	4,431	5,257	+ 827
アメリカ	682	895	+ 214
∃ーロッパ	1,433	1,961	+ 528
営業利益	206	952	+ 746
日本・アジア	419	837	+ 418
アメリカ	<b>1</b> 7	72	+ 88
<b>ヨーロッパ</b>	<b>▲</b> 24	231	+ 256
地域共通費用	<b>▲</b> 172	<b>▲ 187</b>	<b>1</b> 6

1 20 男計

為替影響:

//音四)

+233億円

連結範囲変更影響:

+24億円



# 2021年通期業績の見通し

# 2021年 通期業績見通し



■ コロナ禍で落ち込んだ事業の業績が回復基調であることに加え、 塩化ビニル樹脂の高値継続により大幅な増収増益を見込む

(億円)

	FY2020	<b>FY2021</b> (4/12予想)	<b>FY2021</b> (8/2予想)
売上高	14,123	16,500	16,700
営業利益	758	1,600	1,800
税引前利益	571	1,420	1,870
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	327	830	1,170
1株当たり配当(円)	120	140	210
			(普通配当160円)
			(特別配当50円)
営業利益率	5.4%	9.7%	10.8%
ROE	2.9%	7.4%	10.5% *
為替レート(期中平均) JPY/USD	106.8	109.0	108.6
JPY/EUR	121.8	129.4	129.5
原油 (Dubai,期中平均) USD/BBL	42.2	63.8	69.2
エチレン(CFR SEA) USD/MT	713	1,000	1,012

### 株主還元



- 今期業績予想上方修正に合わせ、配当額を再度増額修正
- 北米建築用ガラス事業の事業譲渡による一時収益に対応した特別配当を行う予定

#### 株主還元方針

当期連結業績や将来の資金需要等を総合的に勘案しながら、連結配当性向40%を目安とした安定的な配当を継続する。また、資本効率の向上に資する株主還元策として機動的に自己株取得を行う。

(円)

		中間配当	期末配当	特別配当	年間配当	連結配当性向
FY2	2020	60	60	-	120	81%
	期初発表	60	60	-	120	-
FY2021	4/12発表	70	70	-	140	-
予想	今回発表	<b>80</b> (実績)	80	50	210	40%

# セグメント別 業績見通し



(億円)

	FY2020 通期実績		FY2021 上期実績 (a)		FY2021 下期予想 (b)		FY2021 通期予想		増減 (b)-(a )	
	売上高	営業利益	売上高	<i></i> 営業利益	売上高	<u>/</u> 営業利益	売上高	営業利益	売上高	<i></i>
ガラス	6,510	<b>▲</b> 166	3,717	203	3,683	147	7,400	350	▲ 35	▲ 56
電子	2,894	378	1,415	140	1,785	190	3,200	330	+ 370	+ 50
化学品	4,512	505	2,881	595	2,919	505	5,800	1,100	+ 37	<b>▲</b> 90
セラミックス・その他	811	42	367	16	433	4	800	20	+ 65	<b>▲</b> 12
消去	<b>▲</b> 603	<b>1</b>	<b>▲</b> 268	<b>A</b> 2	▲ 232	2	▲ 500	0	+ 36	+ 4
連結合計	14,123	758	8,113	952	8,587	848	16,700	1,800	+ 473	▲ 104

# 各セグメントの事業の下期見通し



#### 21年上期 vs 21年下期

#### ガラス

#### (建築用ガラス)

・欧州での季節性に伴う出荷減に加え、北米事業譲渡の影響もあり減収

#### (自動車用ガラス)

・世界の自動車生産台数は半導体不足の影響を懸念

# 電子

#### (ディスプレイ)

- ・液晶用ガラス基板の出荷は、下期も堅調に推移
- ・スマホ市場の回復に伴い、ディスプレイ用特殊ガラスは下期も堅調に推移
- ・液晶用ガラス基板の新規設備立ち上げにより、減価償却費が増加

#### (電子部材)

- ・半導体関連製品およびオプトエレクトロニクス用部材は、下期にかけ出荷が増加
- ・半導体関連製品の新規設備立ち上げなどにより、減価償却費が増加

#### (クロールアルカリ・ウレタン)

・塩化ビニル樹脂の市況高騰はやわらぐも、高水準で推移

#### (フッ素・スペシャリティ)

#### 化学品

・航空機向け出荷は引き続き低調に推移するも、自動車向けの需要が緩やかに回復

#### (ライフサイエンス)

・買収および設備投資による能力増強で更なる需要取り込みや新型コロナウイルス用ワクチン開発 関連の受託もあり、堅調に推移

### 戦略事業領域の成長を加速



- 今年5月発表時点から変更なし
- 順調に業績拡大する見通し



### 設備投資額·減価償却費·研究開発費



年間

(億円)

	FY2020	FY2021e
設備投資額	2,413	<b>2,200</b> *
ガラス	641	480
電子	807	730
化学品	952	970
セラミックス・その他	15	20
消去	<b>A</b> 2	0
減価償却費	1,437	1,600
ガラス	510	500
電子	479	600
化学品	430	480
セラミックス・その他	19	20
消去	<b>1</b>	0
研究開発費	464	550

#### 【主な設備投資案件】

- ・ディスプレイ中国G11投資(電子)
- •半導体関連製品製造設備増強(電子)
- •遺伝子治療薬工場買収(化学品)
- ・フッ素関連製品能力増強(化学品)
- ・東南アジア塩ビ能力増強(化学品)
- ・バイオ医薬品能力増強(化学品)

など



# 中期経営計画 AGC plus-2023 進捗状況

# **AGC plus-2023** の戦略



■「2030年のありたい姿」の実現を確実にするため、以下戦略を加速

#### "両利きの経営"の追求

- ・戦略事業領域の事業成長を加速させるとともに、新しい事業領域(エネルギー関連領域など) を探索
- ・コア事業のうち収益性・資産効率に課題が残る建築用ガラスと自動車用ガラスは構造改革を 実施
- ・その他のコア事業は収益基盤とキャッシュ創出力を強化

#### サステナビリティ経営の推進

- ・素材イノベーションにより社会課題解決を加速
- ・2050年にカーボンネットゼロを目指す
- ・人財とグループガバナンスを強化



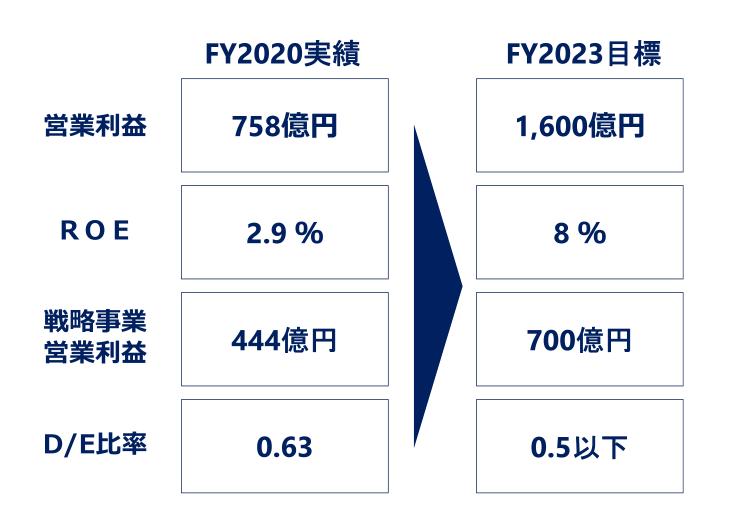
#### DXの加速による競争力の強化

- ・ビジネスモデルの変革も見据え、開発から 販売までの一連のプロセスをデジタル技術 で変革
- ・デジタル技術を使い、お客様と社会に新た な付加価値を提供し、競争優位性を実現

# **AGC plus-2023** 財務目標



■中計初年度に営業利益、ROE、D/E目標を達成する見通し



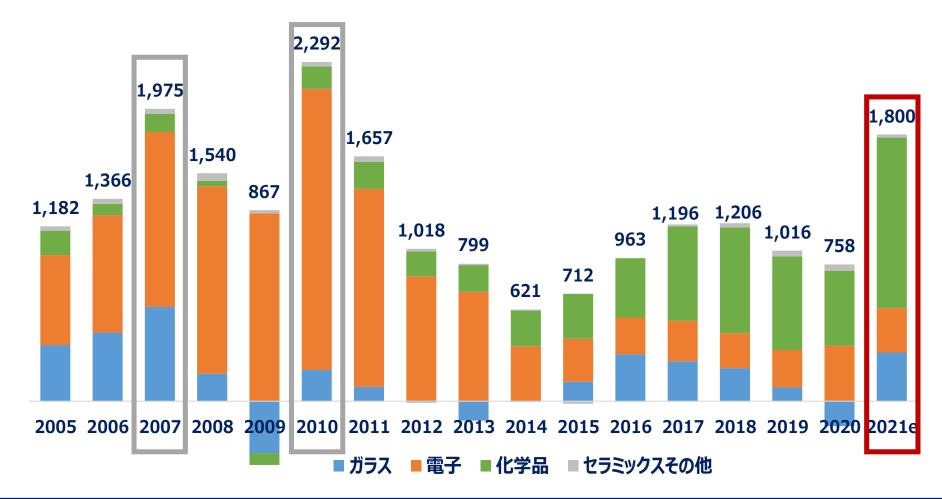


# 業績推移: 営業利益



### ■今期は過去3番目に高い営業利益となる見通し

#### セグメント別営業利益推移(億円)

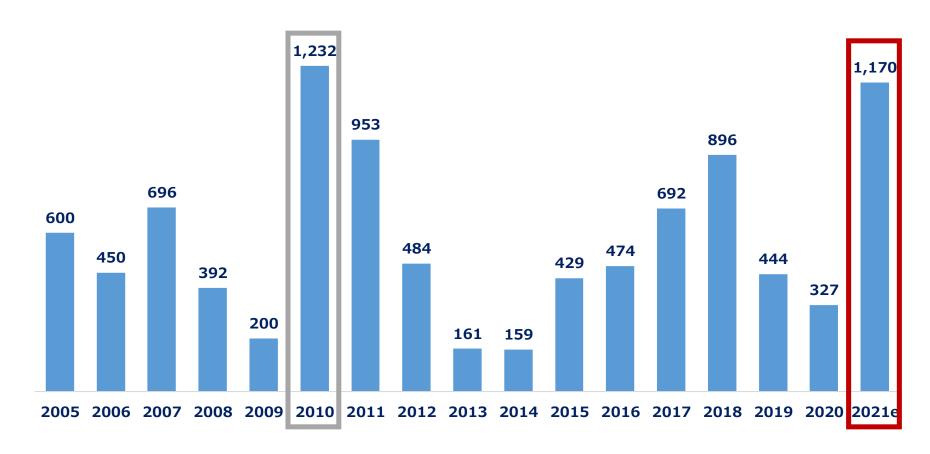


# 業績推移: 親会社の所有者に帰属する当期純利益



■親会社の所有者に帰属する当期純利益は過去2番目となる見通し

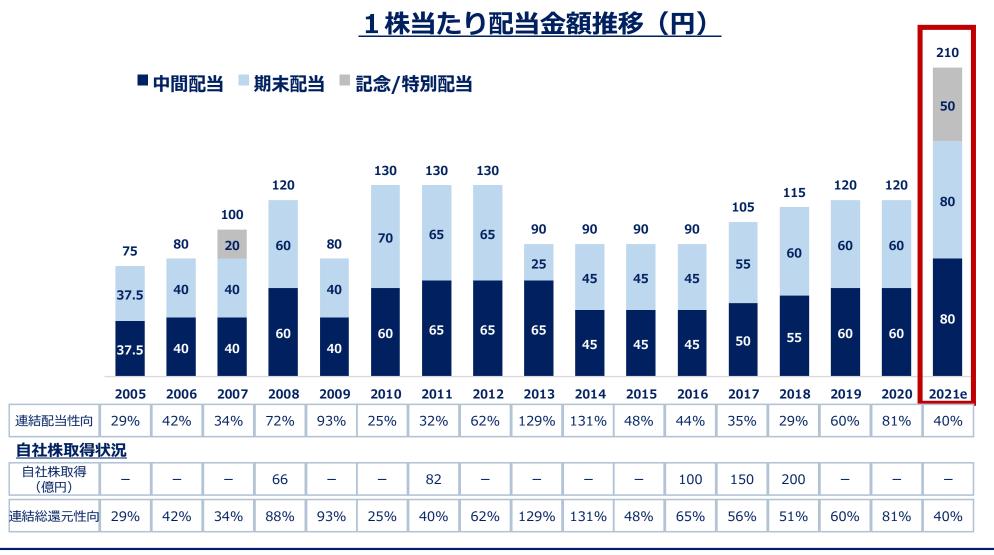
#### 親会社の所有者に帰属する当期純利益推移(億円)



# 株主還元



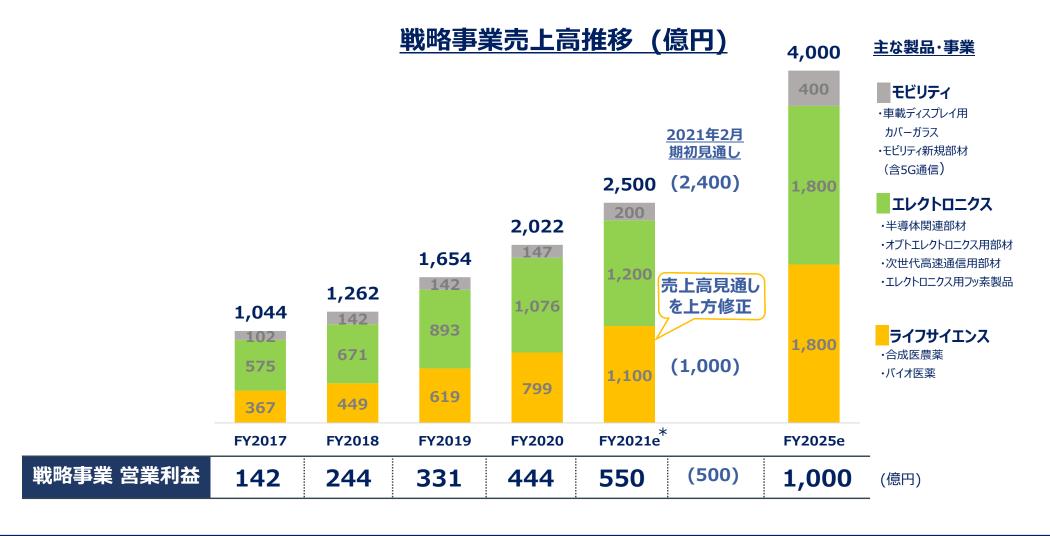
### ■1株当たりの年間配当額は過去最高となる見通し



# 戦略事業領域の成長を加速(グラフ再掲)



### ■ライフサイエンスを中心に想定を上回るスピードで事業拡大



### ライフサイエンス事業の業績動向



■ 業績は順調に拡大し、収益率も向上

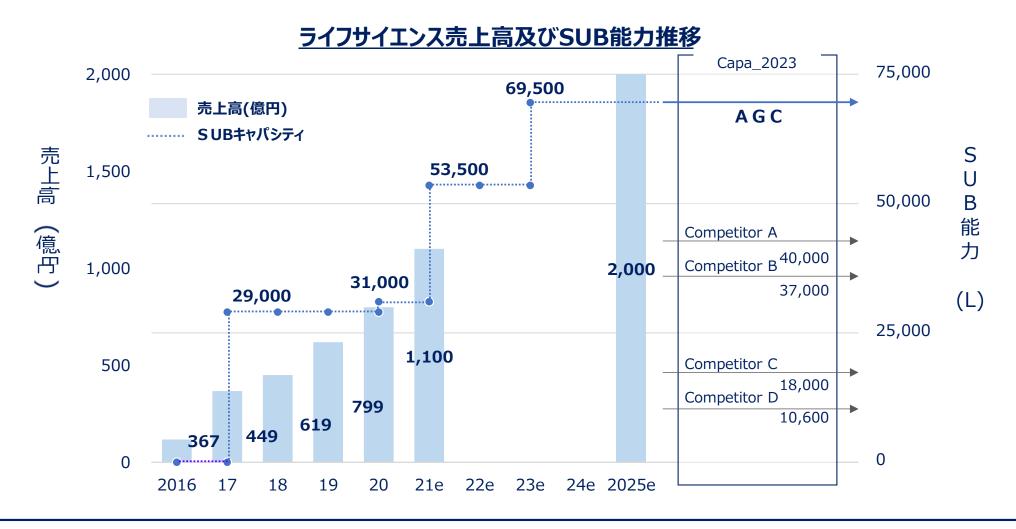
#### ライフサイエンス 売上高推移(億円)



### バイオ医薬品CDMOではSUBトップポジション



- SUB\*での優位性を活かし、希少疾病・オーファン薬分野でトップポジション\*\*
- 積極的な設備能力増強に伴い業績が拡大

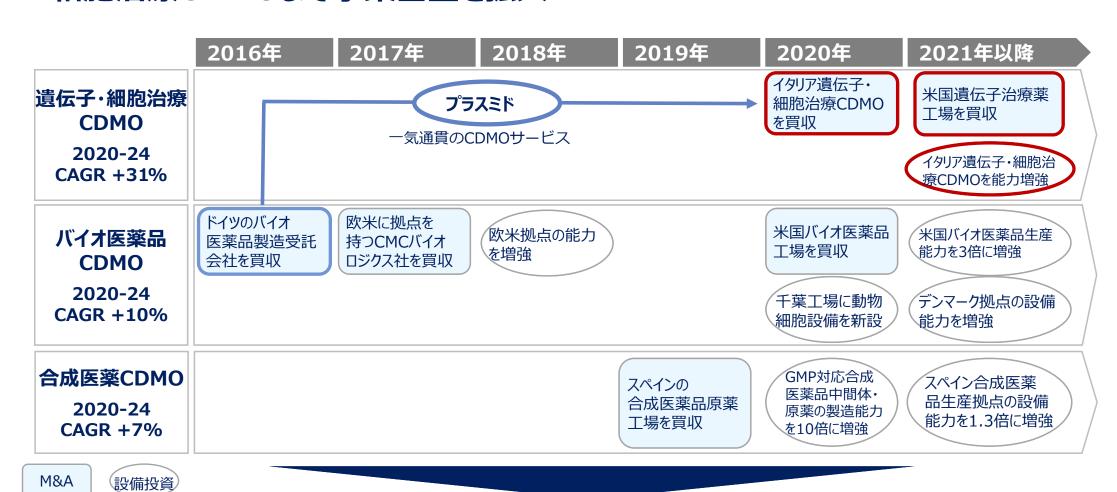


©AGC Inc.

# 積極投資によりライフサイエンスの事業基盤を拡大



■ これまで約2,000億円\*の投資を行い、合成医農薬からバイオ医薬品、遺伝子・細胞治療CDMOまで事業基盤を拡大



更なる事業拡大に向け、引き続き能力増強(M&Aを含む)を進める

# ライフサイエンス事業で2025年に売上高2,000億円を目指す AGC Your Dreams, Our Challenge

■AGCグループの強みと積極的な事業基盤拡大により、2025年の売上高目標を2,000億円に引き上げる(従来目標:1,800億円)

# AGCグループの強み

#### 技術力

- ・シングルユーステクノロジー
- ・次世代タンパク質精製システムの開発
- ・合成プロセスの開発力
- ・フッ素化技術

#### 商用医薬品の製造実績

- ・CDMOとして30年の実績
- ・FDA,EMA,PMDAなどの各種 査察への対応実績

#### お客様ニーズに合致した 生産体制

・欧・米・日3極で高品質の CDMOサービス提供が 可能

AGCグループの信頼・信用力



# 付属資料

## 北米建築用ガラス事業譲渡



■ 長期的・戦略的なポートフォリオの観点から、米国Cardinal Glass Industries 社に北米建築用ガラス事業を譲渡

#### 事業譲渡の概要

譲渡先

Cardinal Glass Industries

譲渡金額

USD 450百万

譲渡期日

近日中

本年度の 業績影響 売上高: ▲約200億円 営業利益: ▲約 20億円

その他収益:+約250億円

#### 事業譲渡の資産対象拠点と主要設備



## 東南アジア クロールアルカリ事業



強み 1

#### 市場構造の強み

- 東南アジアの高い経済成長率を背景に、塩化ビニル樹脂の域内需要は年率5%\*成長
- ・苛性ソーダと塩素両方の製品販売 力が必要なため、域内他社による 大型の電解設備増強計画なし
- ・原料(エチレン)価格上昇を塩化 ビニル樹脂価格に反映できる市場

強み 2

### 圧倒的な市場ポジションと 強固なお客様基盤

- ・ 苛性ソーダ、塩化ビニル樹脂とも 東南アジアで50%以上のシェアを 確保
- ・1960年代にタイ、1980年代に インドネシアに進出しており、確固 とした販売網と物流網を構築
- ・域内最大の生産能力と高い生産 技術による安定供給でお客様の 信頼獲得

強み3

#### 域内での競争優位性

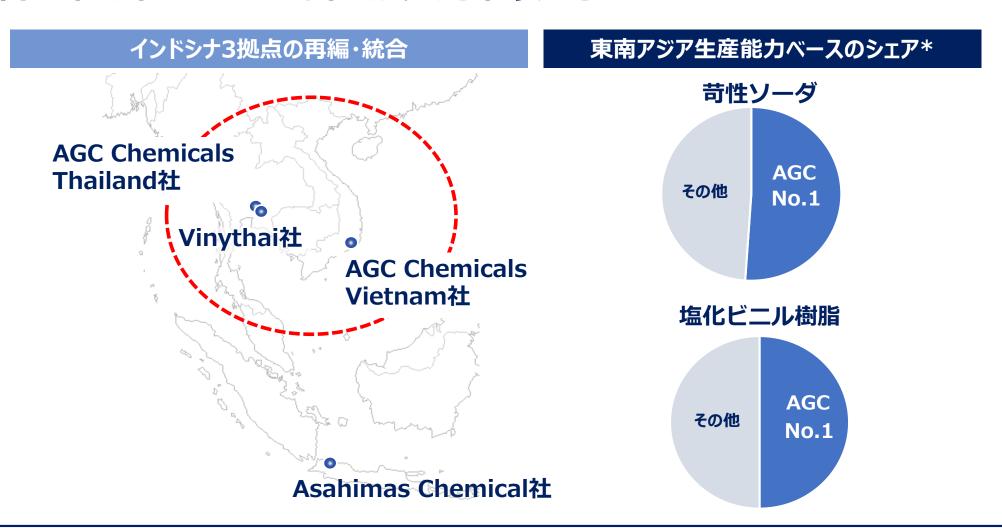
- ・電解からPVCまでの一貫生産体制により蓄積してきたオペレーション技術による安定生産
- ・インドネシア、タイ、ベトナムで域内 最適生産が可能
- ・タイの有力エチレンメーカーである PTTGC社との連携を強化

中長期的に高い利益率を維持し、成長することが可能

## 東南アジア クロールアルカリ事業強化



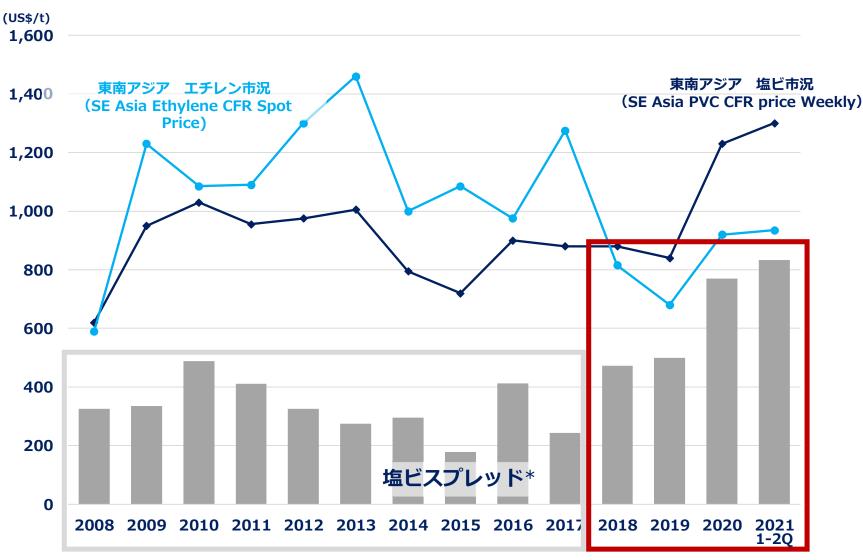
- 東南アジアクロールアルカリ事業での高い市場ポジションをインドシナ 3拠点の再編・統合により更に強化
- 高い市場ポジションで市場成長を取り込む



## (ご参考) 東南アジア 塩ビ市況



### ■塩ビスプレッドは2018年以降拡大し、足下は高水準で推移



\*塩ビスプレッド:塩ビ市況 - (エチレン市況×0.5)で計算

出典: Bloombergデータをもとに作成

## セグメント別 ROCE・EBITDA (2020年度末)



(億円)

	営業利益 EBITDA		ROCE%	営業資産	
ガラス	<b>▲</b> 166	344	_	6,400	
電子	378	857	6.3%	6,000	
化学品	505	935	8.9%	5,700	
セラミックス・その他	42	62	14.1%	300	
消去ほか	<b>1</b>	▲2	-	_	
合計	758	2,195	4.1%	18,400	

※ROCEは2020年末時点の営業資産を元に計算

## 為替・市況に対する業績 感応度

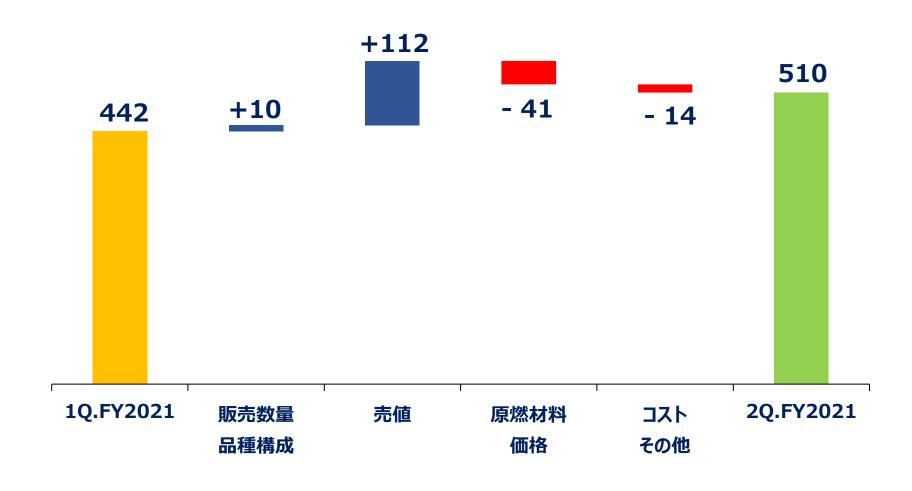


リスク要因	営業利益に対するインパクト	補足
為替	1%円高で <u><b>2億円*</b></u> 減益	*JPYに対して全ての通貨が同じ 割合で動いた場合の影響額
ドバイ原油	1バレルあたり1ドル上昇した場合、 <u>3億円*</u> 減益	*オイルヘッジ影響除く
化学品市況	① 苛性ソーダ: 国際市況が\$1下がると\$ <u>1M</u> の減益 ②塩ビスプレッド: \$1下がると\$ <u>1.2M</u> の減益*	*塩ビスプレッド : 塩ビ市況-(エチレン市況×0.5)

## 営業利益増減要因分析(2Q.FY2021 vs. 1Q.FY2021)



### 前四半期比 68 億円増益



# 売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較



(億円)

			日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計
	建築用ガラス	2Q.FY2021	288	155	548	-	991
		2Q.FY2020	253	97	355	-	706
	自動車ガラス	2Q.FY2021	490	157	268	-	915
	2Q.FY2020	331	68	136	-	534	
ガラス		2Q.FY2021	778	313	816	6	1,912
		2Q.FY2020	584	165	491	8	1,249
電子		2Q.FY2021	620	63	3	20	705
		2Q.FY2020	620	57	3	13	693
化学品		2Q.FY2021	1,208	94	203	4	1,508
		2Q.FY2020	780	70	129	5	983
セラミックス	・その他	2Q.FY2021	82	-	-	109	191
		2Q.FY2020	71	-	-	113	185
消去		2Q.FY2021	-	-	-	<b>▲ 139</b>	<b>▲</b> 139
		2Q.FY2020	_	-	-	<b>▲</b> 139	<b>▲</b> 139
合計		2Q.FY2021	2,687	469	1,021	-	4,178
		2Q.FY2020	2,055	292	623	-	2,970

# 売上高 セグメント・地域別展開 前年累計比較



(億円)

			日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計
	建築用ガラス	1-2Q.FY2021	567	281	1,036	-	1,883
		1-2 <b>Q</b> .FY2020	544	196	767	-	1,507
	自動車ガラス	1-2Q.FY2021	1,003	298	521	-	1,822
	1-2 <b>Q</b> .FY2020	796	228	400	-	1,423	
ガラス		1-2Q.FY2021	1,570	579	1,557	12	3,717
		1-2 <b>Q</b> .FY2020	1,340	424	1,167	12	2,942
電子		1-2Q.FY2021	1,255	116	5	39	1,415
		1-2 <b>Q</b> .FY2020	1,240	105	6	34	1,386
化学品		1-2Q.FY2021	2,276	200	399	7	2,881
		1-2 <b>Q</b> .FY2020	1,703	152	261	8	2,124
セラミックス	・その他	1-2Q.FY2021	157	-	-	210	367
		1-2 <b>Q</b> .FY2020	148	-	-	234	382
消去		1-2Q.FY2021	-	-	-	<b>▲ 268</b>	▲ 268
		1-2 <b>Q</b> .FY2020	-	-	-	<b>▲</b> 289	▲ 289
合計		1-2Q.FY2021	5,257	895	1,961	-	8,113
		1-2Q.FY2020	4,431	682	1,433	-	6,545

# 通期業績予想



(億円)

	FY2020 (a)		FY2021 通期予想(8/2予想) (b)		増減 (b)-(a)		FY2021 通期予想(4/12予想) (c )		增減 (b)-(c)	
		a) 	売上高	営業利益	(D)-( 一 売上高	(a) 一 営業利益	売上高	営業利益	(D)-( 売上高	営業利益
ガラス	6,510	<b>▲</b> 166	7,400	350	+ 890	+ 516	7,400	330	+ 0	+ 20
電子	2,894	378	3,200	330	+ 306	<b>4</b> 8	3,200	300	+ 0	+ 30
化学品	4,512	505	5,800	1,100	+ 1,288	+ 595	5,600	950	+ 200	+ 150
セラミックス・その他	811	42	800	20	<b>▲</b> 11	▲ 22	800	20	+ 0	+ 0
消去	<b>▲</b> 603	<b>1</b>	▲ 500	0	+ 103	+ 1	▲ 500	0	+ 0	+ 0
連結合計	14,123	758	16,700	1,800	+ 2,577	+ 1,042	16,500	1,600	+ 200	+ 200

# 業績推移



									(億円)
ガラス	2Q.19	3Q.19	4Q.19	1Q.20	2Q.20	3Q.20	4Q.20	1Q.21	2Q.21
売上高	1,890	1,840	1,837	1,693	1,249	1,717	1,851	1,806	1,912
建築用ガラス	890	875	905	801	706	840	901	891	991
自動車用ガラス	996	963	923	889	534	869	943	908	915
(セグメント間)	5	3	9	3	8	7	7	7	6
営業利益	39	23	<b>4</b>	▲ 26	▲ 182	<b>▲</b> 12	53	97	106

電子	2Q.19	3Q.19	4Q.19	1Q.20	2Q.20	3Q.20	4Q.20	1Q.21	2Q.21
売上高	652	761	760	692	693	715	792	710	705
ディスプレイ	441	449	460	433	433	448	458	461	429
電子部材	185	283	276	238	247	257	316	230	257
(セグメント間)	26	28	24	22	13	10	19	19	20
営業利益	35	109	87	89	85	99	106	86	54

化学品	2Q.19	3Q.19	4Q.19	1Q.20	2Q.20	3Q.20	4Q.20	1Q.21	2Q.21
売上高	1,158	1,197	1,275	1,142	983	1,091	1,296	1,373	1,508
クロールアルカリ・ウレタン	710	745	768	695	559	632	755	822	940
フッ素・スペシャリティ	299	302	311	283	247	250	278	269	299
ライフサイエンス	146	147	193	160	173	207	260	279	265
(セグメント間)	4	4	3	4	5	3	3	3	4
営業利益	118	177	191	151	75	98	180	255	340

## 市況推移



数量·価格動向

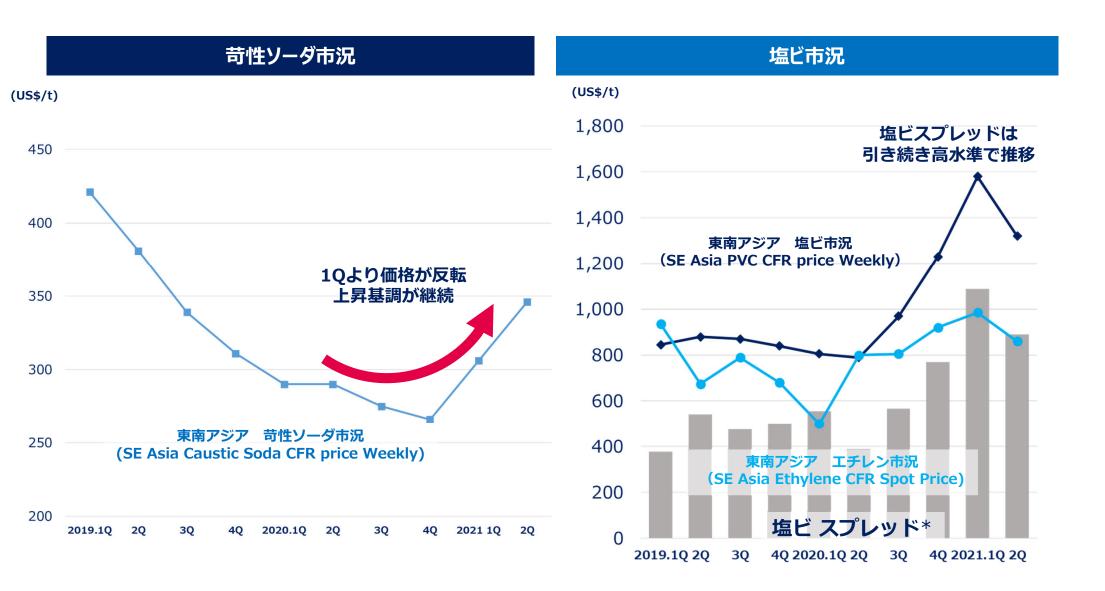
						20	20		2021		
					1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
前年同	同四半期比(YoY	<b>()</b>									
ガラス	建築用ガラス	日ア	数量		-数%	-1割弱	+1桁半ば	+数%	+1割	+1割強	
	(AGC)		価格(日)		+数%	+1桁半ば	+数%	+数%	横ばい	横ばい	
		北米	数量		-1割弱	-約2割	+数%	+1割強	+10%台半ば	+3割強	
			価格		-1割弱	-1桁半ば	-1桁半ば	-1桁半ば	+数%	+約1割	
		欧州	数量		横ばい	-約2割	+数%	-1桁半ば	微増	+約3割	
			価格		-1割強	-2割強	-2割弱	-数%	+1割弱	+4割弱	
	自動車用生産台数	日本	数量		-7%	-48%	-12%	+4%	-5%	+52%	
	(IHS Markit 6/16データより)	北米	数量		-11%	-68%	+0%	+0%	-5%	+138%	
		欧州・ロシア	数量		-17%	-60%	-7%	+1%	+1%	+98%	
電子	ディスプレイパネル需要* (Omdia社)	グローバル	面積		0%	+5%	+12%	+7%	+17%	+12%	
市況到	<b>L </b>										
化学品	東南アジアクロアリ	苛性ソーダ	価格	USD/MT	290	290	275	266	306	346	
	(Plaambara th)	PVC	価格	USD/MT	805	790	970	1,230	1,580	1,320	
	(Bloombergより)	エチレン	価格	USD/MT	500	800	805	920	985	860	

<sup>\*</sup>Source: Omdia-Display Long-Term Demand Forecast Tracker – 1Q21 Pivot

Results are not an endorsement of AGC Inc. Any reliance on these results is at the third-party's own risk.

## (ご参考) 東南アジア 苛性ソーダ、塩ビ市況





\*塩ビスプレッド:塩ビ市況 - (エチレン市況×0.5)で計算

## 財務指標



				IFRS		
		16/12	17/12	18/12	19/12	20/12
売上高	百万円	1,282,570	1,463,532	1,522,904	1,518,039	1,412,306
営業利益	百万円	96,292	119,646	120,555	101,624	75,780
営業利益率	%	7.5	8.2	7.9	6.7	5.4
親会社の所有者に帰属する当期純利益	百万円	47,438	69,225	89,593	44,434	32,715
自己資本当期純利益率(ROE)*1	%	4.3	6.1	7.7	3.9	2.9
総資産営業利益率(ROA) *2	%	4.8	5.7	5.4	4.4	3.1
自己資本比率	%	55	53	51	50	44
D/E(有利子負債・純資産比率)	倍	0.37	0.38	0.43	0.47	0.63
営業CF/有利子負債	倍	0.47	0.42	0.35	0.32	0.29
一株当たり当期純利益(EPS) *3	円	205.14	302.12	399.51	200.85	147.84
一株当たり配当金	円	90	105	115	120	120
EBITDA *4	百万円	195,767	249,880	259,425	231,857	208,459
為替レート(期中平均)	円/ドル	108.84	112.19	110.43	109.05	106.82
高省レート (期中平均) 	円/ユーロ	120.33	126.66	130.42	122.07	121.81

<sup>\*1</sup> 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計(期中平均)

その他の財務指標についてはこちらを参照ください。<a href="https://www.agc.com/ir/pdf/data">https://www.agc.com/ir/pdf/data</a> all.pdf

<sup>\*2</sup> 営業利益/総資産 (期中平均)

<sup>\*3</sup> 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。 一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

<sup>\*4</sup> EBITDA(支払利息・税金・減価償却費控除前利益)=税引前利益+減価償却費+支払利息

### サステナビリティ "製品・技術"を通じて社会的価値を創出



#### 重要機会

気候変動問題への対応

資源の有効利用

社会インフラの整備

安全・快適な モビリティの実現

情報化・IoT社会の構築

食糧問題への対処

健康・長寿社会への対応

#### AGCグループの主な素材・ソリューション

建築用ガラス、グリーン冷媒、自動車用 赤外線カットガラス、バイオマスボイラー用炉 材等

燃料電池用部材、リサイクル原料使用製品(ガラス・耐火物等)

建築用ガラス、苛性ソーダ、次亜塩素酸 ソーダ、重曹、塩ビ等

自動車用ガラスアンテナ、車載センシング・レーダー用部材、HUD部材等

建物窓取付アンテナ、半導体製造用部材、 ディスプレイ用ガラス、高速通信用部材 等

農薬原体・中間体、農業温室ハウス用 フィルム等

医薬品原体・中間体、高速通信用部材、 水処理用高機能膜等

#### 社会的価値

持続可能な地球環境の実現 への貢献









安全・快適な都市インフラの実現への貢献











安心・健康な暮らしの実現への貢献







### サステナビリティ"健全な企業活動"を通じて社会的価値を創出



#### 重要リスク

気候変動問題への対応

資源の有効利用

社会・環境に配慮した サプライチェーン

地域社会との関係・ 環境配慮

公正・平等な雇用と 職場の安全確保

#### AGCグループの企業活動

継続的な省エネ対策実施、GHG排出 量を低減する生産技術・設備開発 等

再生原材料や再生資材の活用、埋立て 処分の削減 等

人権尊重・環境保護を重視したサプラ イヤー管理等

水使用量削減、生物多様性保全、環境 事故撲滅、地域のファン作り等

従業員エンゲージメントの向上、重篤 災害・休業災害の発生防止 等

#### 社会的価値

関連するSDGs

持続可能な地球環境の実現 への貢献







健全・安心な社会の維持 への貢献









公正・安全な働く場の創出 への貢献

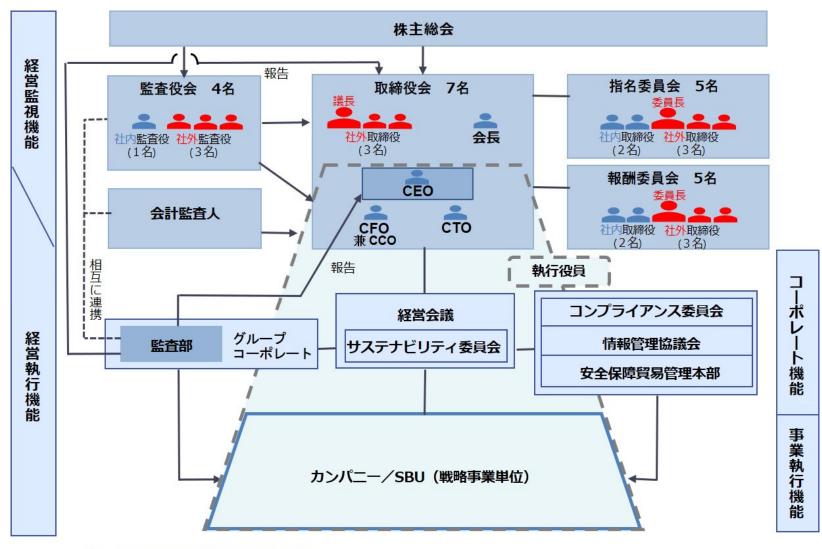




## 当社のコーポレートガバナンス体制



#### < 2021年3月30日からの体制 >



📤: 社内出身の取締役又は監査役

:独立性が確保された社外取締役又は社外監査役

## 社外からの評価



#### FTSE4Good Index Seriesに選定



### FTSE Blossom Japan Indexに選定



女性活躍推進に優れた企業を選定する「なでしこ銘柄」に昨年に引き続き選定



### 「日経スマートワーク大賞2021 審査委員特別賞」を受賞



### 「健康経営優良法人2021ホワイト500」 に選定



EcoVadisサプライヤー評価で最高ランクを取得

鹿島工場:「PLATINUM」

千葉工場、AGCファーマケミカルズ:「GOLD」





Derwent Top 100 グローバル・イノベーター 2021 に選定

企業としてのデジタル化を評価され、 「DX注目企業2021」に選定

# 2021年 主要発表事項



発表日	内容
1月14日	セントラル硝子株式会社との国内建築用ガラス事業統合に係る協議の中止に関するお知らせ
1月26日	メタサーフェス技術により窓ガラスの電波レンズ化に世界で初めて成功
2月3日	海外に拠点を持つ法人への5Gソリューション展開をめざしたコンソーシアムの設立に向け基本合意
2月5日	新たな経営方針、長期経営戦略および中期経営計画を策定
2月16日	A G C千葉工場、5Gを見据えてプライベートLTEネットワークを導入
3月3日	AGC Biologicsミラノ拠点、遺伝子・細胞治療CDMOの培養能力を増強
3月19日	インドシナ半島のクロール・アルカリ事業 3 社の統合再編を決定
4月12日	建築用ガラス事業の組織改正を実施
4月26日	原燃材料の自動管理システム「Smart Inventory System」を開発
5月25日	化学品プラントにデータ分析プラットフォームAlteryxを導入
6月8日	新型コロナワクチン向けプラスミドDNAの製造を受託
6月15日	北米建築用ガラス事業の譲渡に関するお知らせ
7月2日	AGC Biologics 社、米国における遺伝子治療薬工場の買収契約締結
7月15日	国内建築用ガラス関連製品の価格を改定



## **END**

#### 予測に関する注意事項:

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの 行動を勧誘するものではありません。本資料(業績計画を含 む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が 作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社 はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。